

希望の鐘

宇部市立見初小学校

令和5年7月20日

児童数
96人
(7/20現在)

<学校教育目標>

さわやかに、かしこく、たくましく未来を拓く見初っ子の育成

1学期間ありがとうございました ～言葉のもつ魔法で素敵な夏休みを～

校長 川本 朋子

今日で1学期が終わります。

思い出してみると、4月では、まだまだ新型コロナ対策のことで頭がいっぱいでした。ところが、5月のゴールデンウィークが終わって新型コロナ感染症が5類に移行してから、少し、世の中が変わったように見えました。本校にとっての象徴的な出来事が、地域との合同運動会の実施です。今年は多くの地域の方々にも参加していただきました。力いっぱい走ったり踊ったり、声を出して思いっきり応援したりと、とても賑やかな運動会になりました。



新型コロナ感染症が完全になくなったわけではありませんし、感染が広がっている地域もあると聞いています。それでも、笑顔でできることに夢中になって取り組んでいくことがこれからも大事ではないかと思えます。

さて、夏休みを迎えるにあたり、児童には終業式で次のような話をしました。それは、「素敵な夏休みにするために、ちょっと工夫してみよう」ということです。

長い休みですから、いつもより思いっきり遊ぶことができるでしょう。家族でお出かけする機会があるかもしれません。何日も時間をかけて何かを創ることもできそうです。また、見初地域では、昭和町公園で夏祭りが開かれ、育友会も参加されると聞いています。宇部市子ども会連合会のドッジビー大会参加も楽しみです。夏休みにぜひやってみたいことにチャレンジするとよいでしょう。

では、そんな夏休みにどんな工夫をすればよいのでしょうか。それは、**その時の出来事や感想、気持ち等を言葉にして誰かに伝えたり、書き残したりしてみる**ということなのです。

嬉しいことは、言葉にすると喜びがもっとももっと大きくなってずっと心に残ります。出来事や気持ちを書き残しておくことで、何歳になってもその時の風景や思いが言葉と共によみがえってきます。時には懐かしさを感じ、温かな気持ちになることもあるでしょう。これは、**心や記憶の中にあるものを言葉にして表したときにおきる魔法**だと思っています。

日々の出来事は、毎日、家族に話してみる、様々な体験を絵日記や作文にして、家族や友達に読んでもらう等、できそうです。短歌や俳句、詩などに表しても楽しいですね。(短歌や俳句は小学生にも人気だそうです。)2学期に登校したら、担任の先生にも伝えたり、読んでもらったりするのもいいでしょう。この夏休みがきらきらした素敵な夏休みとなり、2学期にさらにパワーアップして登校してくるのを待っています。

休み中は家庭や地域で過ごすこととなりますが、どうぞ見初の児童を見守っていただくとありがたいです。1学期間、ありがとうございました。

校訓

(昭和5年制定)

進取 労作
質実 剛健
醇風 美俗

～夏休みも元気に過ごしましょう～

山口県「家庭の元気応援キャンペーン」

キャンペーンスローガン

「早寝早起き朝ごはん 本を読んで外遊び
みんな仲良く今日も元気」